

第 20 回記念千葉県キャンポリー
【20MCC】

基本実施要項

千葉県富津市新富 株式会社荏原製作所様社有地
千葉県富津市富津みなと公園
千葉県富津市総合社会体育館及びその周辺

平成 28 年 8 月 9 日(火)～8 月 14 日(日)

日本ボーイスカウト千葉県連盟

20MCC 実行委員会

目次

はじめに	1
第1章 主催及び後援	2
1-1 主催	2
1-2 後援(申請予定)	2
第2章 大会の名称	2
第3章 開催趣旨	2
第4章 大会期間及び開催場所の環境	2
4-1 大会期間	2
4-2 開催場所の環境	2
第5章 大会工程表	3
第6章 大会組織	4
6-1 タスクチーム	4
6-2 運営チーム	4
6-3 運営の形態	4
6-4 大会実行委員会組織図	5
6-5 参加するボーイスカウト隊	5
6-6 参加隊	6
6-7 参加隊編成表 要差替え	7
6-8 参加隊グループ編成	8
6-9 大会運営組織	9
第7章 参加資格	11
7-1 ボーイスカウト	11
7-2 ベンチャースカウト	11
7-3 ローバースカウト	11
7-4 成人指導者	11
7-5 その他の参加者	11
7-6 セーフフロムハームの遵守	11
第8章 参加費	11
8-1 参加費	11
8-2 参加費の使用範囲	11
第9章 参加章・見学証と入場	12
9-1 入場者の限定	12
第10章 参加申し込み	12
10-1 予定申し込み	12
10-2 確定申し込み	12
第11章 到着手続	12
11-1 参加隊	12
11-2 大会運営要員	12
第12章 提供する諸設備及び資材	13
12-1 野营地	13

12-2	共用地域と公共施設	13
12-3	運営チーム施設	13
12-4	炊事用燃料及び関連事項	13
12-5	野外工作等の材料	13
第13章	プログラム	14
13-1	プログラムの基本	14
13-2	プログラム時の外出	14
13-3	基本日程	14
13-4	構成プログラム	14
第14章	服装及び携行品	15
14-1	服装	15
14-2	肩章	15
14-3	携行品	15
第15章	配給	16
15-1	食糧の配給	16
15-2	薪	16
15-3	大会運営者の給食	16
15-4	給水	16
15-5	排水	16
第16章	輸送	16
16-1	輸送の原則	16
16-2	輸送の方法	16
16-3	車両の規制	16
第17章	健康管理と救護衛生	17
17-1	個人の健康管理	17
17-2	救護所	17
17-3	救護処置の範囲	17
17-4	環境衛生	17
第18章	緊急時の対応	18
18-1	基本方針	18
18-2	情報の収集と告知	18
18-3	退避勧告と発動	18
18-4	緊急時の実行委員会の任務	18
第19章	見学者の受入れ	18
19-1	見学者の歓迎	18
19-2	参観者の歓迎	18
19-3	来場者の対応と入場時間	18

はじめに

20MCC 実行委員会委員長 大塚正久

第18回千葉県キャンポリーが開催されて以降、県内のボーイスカウト隊が一堂に会してキャンプ大会を行い、お互いを刺激しあい、切磋琢磨する機会が10年も途絶えていました。途中には、分散開催という形をとり各地区単位で開催された第19回大会がありましたが、県キャンポリーのもつ大きな目的達成はできない状態でした。

また、ここ10年で県内のスカウト登録数も年々減少し、平成27年度初期登録ではボーイスカウト隊は1,065人まで減少しています。第18回大会のボーイスカウト参加者数が1,273人でしたから、単純比較をしても17%も減少していることが分かります。

県内ボーイスカウト隊が置かれたこのような環境下で、今回の県キャンポリーの企画はスタートしました。その議論の中でボーイスカウト隊の未来に続く活動支援を最優先とすることが決まり、それに基づき班制教育=パトロールシステムを活性化することにより、ボーイスカウト部門の活動目標達成を考えました。

ここで問題になってくることは、県内ボーイスカウト隊の活動はどうなっているかということでした。県内を調べてみますと、多くの隊で「班長が部活に忙しく、班集会ができない」「班長訓練をしていない」「班集会の参加率が悪く、意見の集約ができない」「班集会ではなく、隊集会のみを実施している」とい現状が見えてきました。

ボーイスカウト隊の基本というべき班制教育が活性化されていないことは、スカウトにとってどうなのかとい検討を重ねました。その結論として「パトロールシステムを活性化する」ということに至ったわけです。誤解されないように敢えて書き示しますが、現状の各隊の活動を否定するわけではなく、どうしたら隊の活性化ができるのか、どう工夫したら班集会ができるのかなど、各隊の現状を考慮した上で各隊を支援する準備を行い、大会を運営するということにしました。

また、参加するスカウト、特に班長という役務の重要性と楽しさをより広い意味で理解できる大会にすることが併せて目標となりました。

一方、県キャンポリーという大きな大会を県連独自に運営するためには、多くの技能や知識を持たれた成人が必要ですが、前回大会から長い年月が経ち、運営経験者の高齢化も進んでしまいました。本大会では、大会組織を運営する人材の確保と経験を積んでいただくことも目標として設定しました。大会運営を組織の面から参画することにより、隊運営の大きなヒントと実力を身に付けていただきたいと思います。

第1章 主催及び後援

1-1 主催

日本ボーイスカウト千葉県連盟

1-2 後援

千葉県

千葉県教育委員会

富津市

富津市教育委員会

第2章 大会の名称

大会の名称は、「第20回記念千葉県キャンポリー(20MCC)」とする。

第3章 開催趣旨

開催目的

- ① テーマ 「Get!パトローリング」
- ② サブテーマ 「パトロールリーダーはカッコいい!!」
- ③ 訓練目標
 - ・ 自隊活動と参加隊活動の融合を図り、自隊を活性化させる
 - ・ パトロールシステムの正しい理解に基づいた真に楽しいスカウティングを実践する

第4章 大会期間及び開催場所の環境

4-1 大会期間

平成28年8月9日(火曜日)から8月14日(日曜日)までの5泊6日

4-2 開催場所の環境

千葉県 富津市新富 株式会社荏原製作所様社有地

千葉県 富津市新富 富津みなと公園

千葉県 富津市総合社会体育館及びその周辺

第5章 大会工程表

基本ロードマップ

20MCC 概略工程表

平成28年3月20日現在

20MCC大会実行委員会

部門	作業名・項目	11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月					
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
会議等	実行委員会			21			19			23			20			19			16			21			18			16						
	大会実施要項													承認		配布																		
	隊長集会															現地												現地						
	予算案取り纏め													仮	検討	承認																		
総務部	シンボルマーク															承認						配布												
	大会キャップ															承認						配布												
	肩章													承認		配布																		
	大会スタッフ募集 ①									BS隊指導者																								
	大会スタッフ募集 ②												団・隊・RS																					
プログラム部	提供プログラム															審議	承認																	
	プログラムガイド															審議	承認	配布																
	式典プログラム																					審議	承認											
安全管理部	安全管理マニュアル															審議	承認	配布																
	SFH(勉強会)																																	
	交通機関																																	
	交通関係処理																								警察	富津								
施設管理部	測量・縄張り																																	
	生活施設															業者決定												施工						
	水道工事															業者決定												施工						
	下水工事															業者決定												施工						
	電気工事															業者決定												施工						
食糧部	建築工事															業者決定												施工						
	保健所確認						確認																					検査						
	配給計画仕様書												作成			審議	承認																	
	配給関係業者決定																		決定															
タスクチーム	食糧申込み															配布						提出												
	奉仕者食堂																											施工			審査			
	参加隊性別調査									第1回			第2回																					

※1 実行委員会数値は開催日

第6章 大会組織

6-1 タスクチーム

タスクチームを設けて、ボーイスカウト隊1隊単位で支援できるようにする。タスクチームのメンバーは、各地区のコミッショナーと県連盟コミッショナーの担当コミッショナーで組織する。

活動目標の最優先課題として

- ① 県内ボーイスカウト隊の現状を正確に把握する
- ② ボーイスカウト隊隊長の悩みや疑問を整理し、まとめる。
- ③ ボーイスカウト隊のプログラムプロセスを再認識し、活性化への第一歩とする。
- ④ 各隊をどのように支援すれば、より活性化できるかを検討し、実施する。
- ⑤ 年間プログラム展開上(大会までの1年間)で発生した問題点を早期発見し、各隊隊長と協議を行い、軌道修正の支援を行う。

特に、月間プログラムを展開することによる班の活性化を推し進め、評価を行い、より楽しい隊活動に繋がるように支援を行う。

6-2 運営チーム

大会を成功裏に推し進めるために、運営チームを編成する。運営単位は、

- ① 総務部
- ② プログラム部
- ③ 安全・救護部
- ④ 施設管理部
- ⑤ 食糧部

の5部門とする。

本大会の組織は、「ボーイスカウト隊の夏季キャンプを支援する団組織」という考えを基本として運営する。各隊の現状やパトロールシステムの基本的な展開に基づき支援できる組織とする。

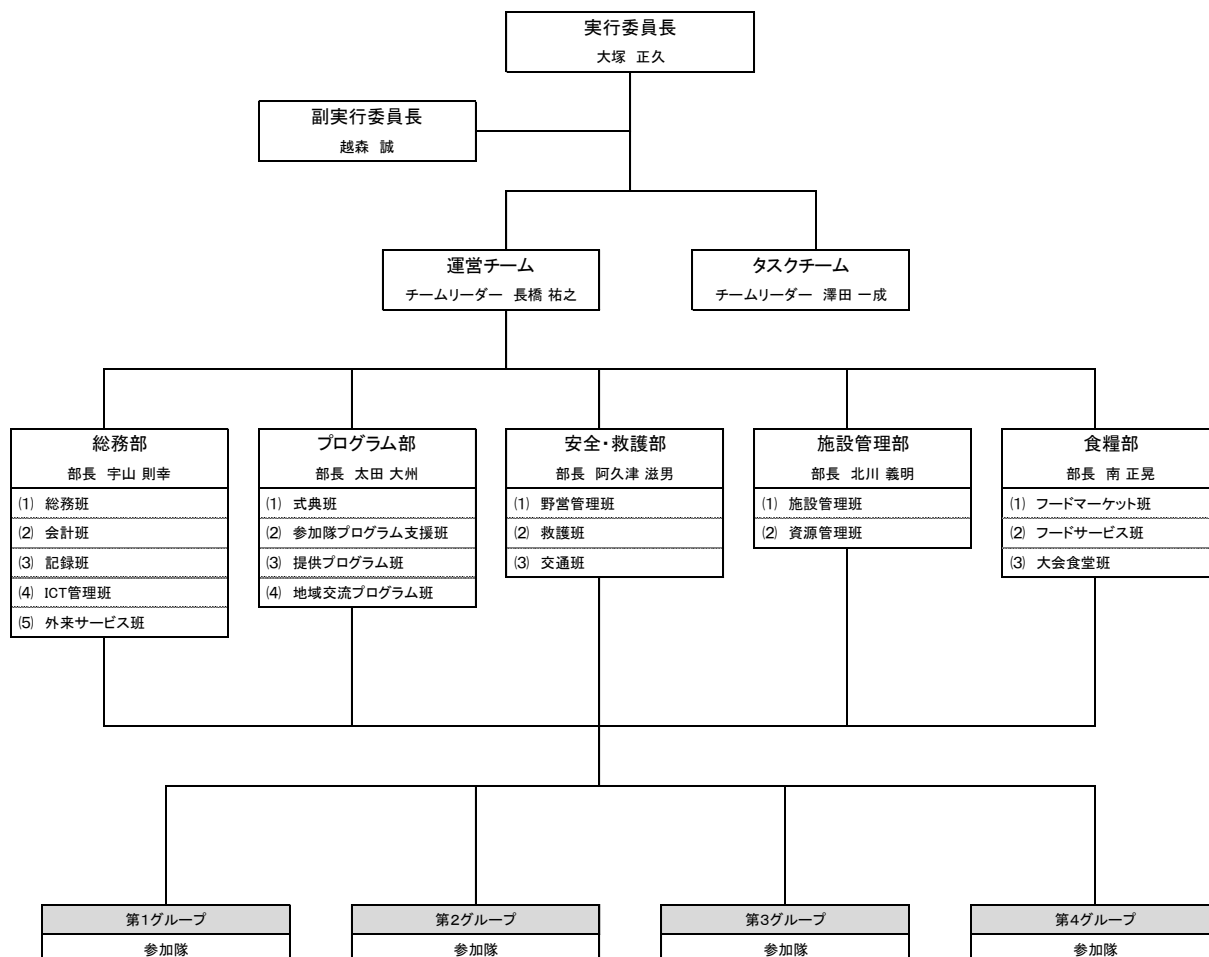
6-3 運営の形態

準備期間を1年としているが、実質は約6か月であること認識して展開する。タスクチームの支援する各隊の活動計画によっては、資料提供や運営方法の変更も余儀なくされると思うが、それに対応できる柔軟な組織運営を行う。

6-4 大会実行委員会組織図

第20回記念千葉県キャンポリー実行委員会組織図

平成28年3月1日現在
20MCC実行委員会



6-5 参加するボーイスカウト隊

従来の県キャンポリーでは、隊ごとに参加をしていたが、今回の大会では、パトロールシステムの活性化を目標にしているため、地区ごとに参加隊を編成して参加する。これにより、

① 標準隊を経験する。

スカウトと隊指導者がそれぞれの立場によって標準隊を経験し、その楽しさとメリットを甘受する。将来的には、現在活動しているボーイスカウト隊個々のスカウト増員目標となるようにする。

② パトロールリーダーの育成

1班8名を目標に参加隊を編成する。ただし、現行の班は極力そのまま活動し、班長の成長が最大限達成できるように、各参加隊で考慮する。

6-6 参加隊

参加隊は標準隊またはそれに準じる隊を基本とし、地区は隊または隊の合同により参加隊を編成することを推奨するが、地区内で最終決定する。

- ① 班編成は、原隊の班を参加隊の班とする。ただし、原隊の班が少人数である場合には、いくつかの班を混成して合同班を編成する。その際の基準は下記のとおりとするが、地区の事情を考慮するものとする。

※班や隊の編成について

- I. 原隊の構成が5人～8人は、1班とする。
- II. 原隊の構成が1人～4人は、他の隊の班と合同班を編成する。
- III. 班構成の最大人数は9人とする。
- IV. 合同班の班長・次長は、合同班内で決定する。
- V. 合同班の班長・次長は、専用の「肩章」を着用して、意識を高める。
- VI. 1隊は、最大5個班、最小3個班をもって編成する。

- ② 参加隊の隊指導者

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| I. 隊長 | 1人 |
| II. 副長 | 4人(内女性指導者1名以上) |
| III. 上級班長 | 1人(ベンチャースカウトとする) |
| IV. 隊付 | 4人(") |

※ 隊指導者は、ボーイスカウト部門ウッドバッジ研修所修了者以上とし、隊長はウッドバッジ実修所修了者が望ましい。

※ 隊付は、何を分掌するのか事前に明確にする。

※ 原隊の隊長は、参加隊指導者となり、隊長又は副長を分担する。

※ 原隊の副長は、大会運営スタッフとして参加する。

※ 参加隊指導者及び大会スタッフは大会期間中、個人の仕事で外出できるように調整できる。

6-7 参加隊編成表

20MCC 参加隊編成表

2016年4月1日現在

地区	隊	班数	スカウト数		構成団			
			9月	4月				
千葉	千葉第1隊	4	19	24	千葉1団	千葉15団		
	千葉第2隊	4	21	28	千葉6団	千葉14団		
	千葉第3隊	4	19	29	千葉8団	千葉13団		
	千葉第4隊				千葉9団	千葉22団	千葉26団	
	千葉第5隊	4	19	32	千葉18団	千葉25団		
	千葉第6隊	5	22	36	千葉21団	千葉27団		
	5隊	21	100	149	1班当たり		7.28人	
船橋	船橋第1隊	5	32	40	船橋3団	船橋9団	船橋17団	
	船橋第2隊	5	25	37	船橋14団	船橋16団	印西白井1団	
	船橋第3隊	5	25	38	船橋1団	船橋5団	船橋6団	船橋11団
					船橋12団	船橋20団	印西白井2団	
3隊	15	82	115	1班当たり		7.67人		
東葛	東葛第1隊	6		37	柏1団	柏5団	柏7団	
	東葛第2隊	5		33	柏6団	柏9団	柏10団	
	東葛第3隊	5		30	柏2団	柏3団	柏4段	
					我孫子1団	我孫子2団	我孫子3団	
3隊	16		100	1班当たり		7.28人		
北総	北総第1隊	3	19	25	野田1団	野田2団		
	北総第2隊	5	29	33	流山3団	流山4団	流山5団	
	2隊	8	48	58	1班当たり		7.25人	
松戸・鎌ヶ谷	松・鎌第1隊	4	23	31	松戸1団	松戸5団	松戸9団	
	松・鎌第2隊	4	15	36	松戸2団	松戸6団	松戸8団	
	松・鎌第3隊	4	24	33	松戸10団	松戸11団		
					松戸4団	松戸7団	鎌ヶ谷1団	鎌ヶ谷2団
3隊	12	62	100	1班当たり		8.33人		
香取東総	香取東総第1隊	5	33	41	銚子2団	銚子3団	旭1団	旭2団
					銚子3団	匝瑳1団		
1隊	5	33	41	1班当たり		8.2人		
上総	上総第1隊	4	19	26	市原1団	市原6団		
	上総第2隊	3	16	27	市原3団	市原5団	市原7団	
	上総第3隊	5	26	37	茂原2団	東金1団	大網白里1団	
	3隊	12	61	90	1班当たり		7.5人	
南総	南総第1隊	3	40	34	袖ヶ浦1団	木更津2団	木更津3団	君津3団
					富津1団			
	南総第2隊	5	37	31	君津2団	館山1団	鴨川5団	
2隊	8	77	65	1班当たり		8.13人		
市川・浦安	市浦第1隊	4	30	24	市川1団	市川3団	市川8団	
	市浦第2隊	4	30	34	市川2団	市川6団		
	市浦第3隊	3	18	24	市川5団	浦安1団	浦安2団	
	3隊	11	78	82	1班当たり		7.45人	
八千代・習志野	八・習第1隊	5	26	37	八千代1団	八千代3団	習志野1団	習志野2団
					八千代2団	八千代4団	八千代5団	
1隊	5	55	75	1班当たり		7.5人		
印旛	印旛第2隊	5	27	38	四街道1団	四街道2団	佐倉1団	佐倉2団
					佐倉3団	佐倉4団	成田1団	富里1団
					酒々井1団	八街1団	栄1団	
1隊	5	27	38	1班当たり		8.44人		
合計	27隊	118	623	913				

6-8 参加隊グループ編成

パトロールシステムを推進するため、参加隊（計30隊）を4つのグループ（7～8隊で1つのグループ）に編成する。グループ編成のねらいは次のとおり

スカウトによる大会運営への参画の機会の提供

20MCC開催のねらいの一つは、スカウトによる班、及び隊の自治を確立する機会を提供することにある。グループ編成を通じて、班長、及び上級班長が中心となり、班として、さらに隊としてどのように大会運営に参画すべきかを考える機会を提供する。

なお、タスクチームは、グループ内自治確立の支援にあたる。

1) グループ広場の運営管理

各グループには、各種プログラムが展開できるグループ広場が用意されている。この広場の使い方、そのルールなどの運営管理をグループ内の自治のもとで行う。

2) 公共生活エリアの衛生管理

各グループに割り当てられたトイレ、シャワーを始めとする公共生活エリアにおける清掃や衛生管理についても、グループ内の自治のもとで行う。

地区を越えたスカウトの交流の機会

20MCCには900名以上のスカウトが参加する。日頃より、技能大会やグリーンバー集会等の各種集会を通して、地区内の交流は盛んに行われている。地区を越えてグループを編成することによって、他の地区のスカウト同士が交流する機会とする。加えて、大会終了後も、交流が継続することを期待する。

大会運営の効率化

食糧やプログラム資材等の配給は班を単位に行われるが、あらかじめ30隊を4つのグループに編成しておくことによって、食糧、及びプログラム資材の配給準備が容易になり、大会運営をスムーズに行うことができる。合わせて、隊の活動状況を把握することも容易となり、安全面のサポートにも万全を期すことができる。

第20回記念千葉県キャンポリー 参加隊グループ編成表

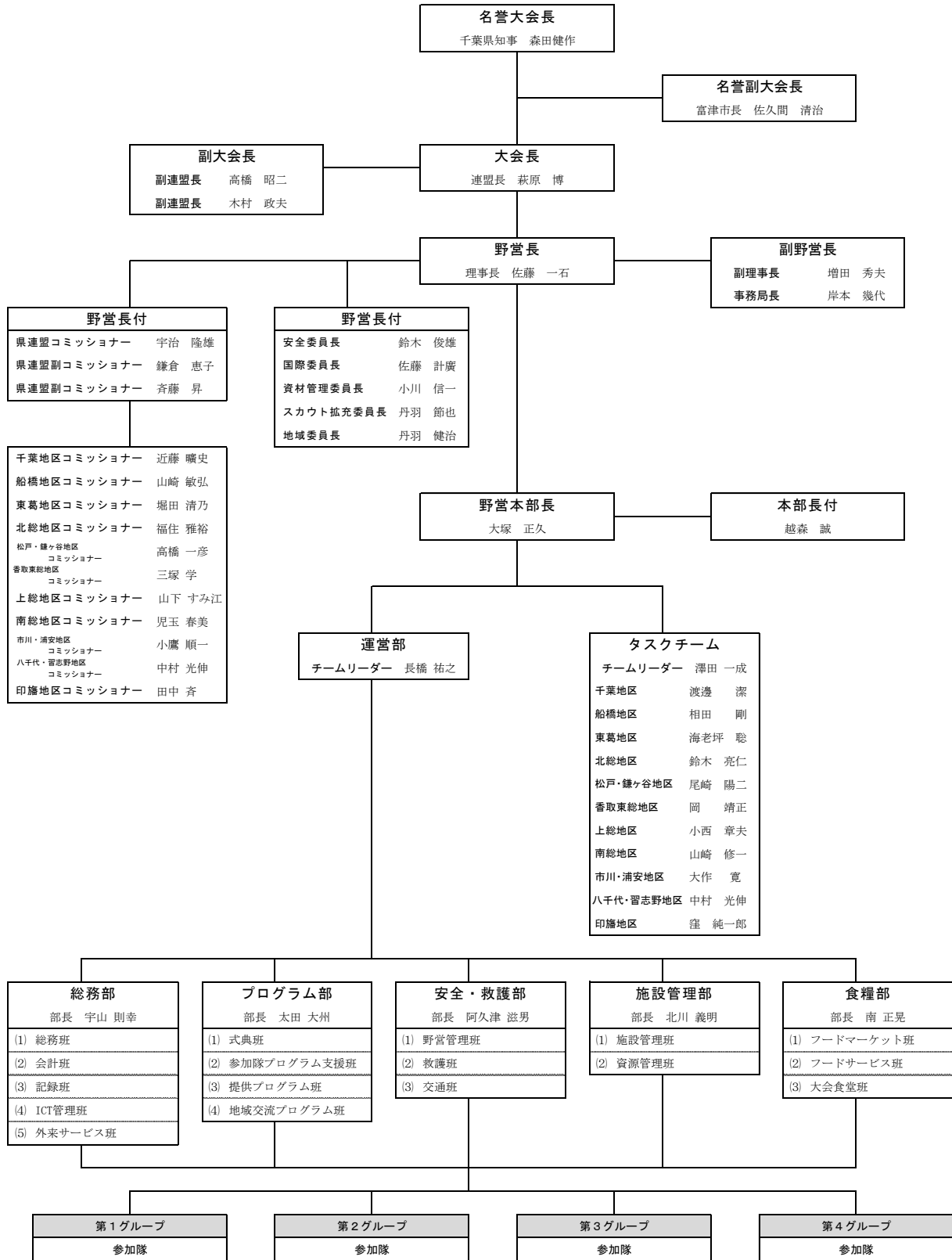
第1グループ			第2グループ		
地区	参加隊	班数	地区	参加隊	班数
千葉	千葉第1隊	4	千葉	千葉第2隊	4
	千葉第5隊	4		千葉第6隊	5
船橋	船橋第3隊	5	船橋	船橋第2隊	5
北総	北総第1隊	3	東葛	東葛第1隊	6
松戸・鎌ヶ谷	松戸・鎌ヶ谷第3隊	4	香取東総	香取東総第1隊	5
上総	上総第1隊	4	上総	上総第3隊	5
市川・浦安	市川・浦安第1隊	4	南総	南総第1隊	3
合計		28	合計		33

第3グループ			第4グループ		
地区	参加隊	班数	地区	参加隊	班数
千葉	千葉第3隊	4	船橋	船橋第1隊	5
東葛	東葛第2隊	5	東葛	東葛第3隊	5
北総	北総第2隊	5	松戸・鎌ヶ谷	松戸・鎌ヶ谷第2隊	4
松戸・鎌ヶ谷	松戸・鎌ヶ谷第1隊	4	南総	南総第2隊	5
上総	上総第2隊	3	市川・浦安	市川・浦安第2隊	4
市川・浦安	市川・浦安第3隊	3			
八千代・習志野	八千代・習志野第1隊	5			
印旛	印旛第2隊	5			
合計		34	合計		23

6-9 大会運営組織

第20回記念千葉県キャンポリー大会組織図

平成28年7月1日現在
20MCC実行委員会



6-10 各部の分掌

総務部					
1	関係省庁との折衝窓口	16	忘れ物落し物の管理	31	予算及び執行管理
2	関係省庁及び対外組織への公文書発行	17	協力業者一覧の作成	32	総務部各班の支援
3	行政を含む対外組織の手続き	18	現地地下見会の開催	33	その他会計に関わる一切の業務
4	実行委員会の組織図確定作業	19	コンプライアンスの指導・管理	34	実行委員会議事録書式(案)作成
5	大会組織図試案の作成	20	サブキャンプ(仮称)との分掌確認	35	実行委員会議事録の保存と配布
6	実施要項の作成	21	大会機関中の合同会議開催	36	議事録配布先の検討と決定
7	HP配信の手続き	22	組織内での未決定事項の対応及び指示	37	各部統一書式の策定
8	各部・タスクチーム間の調整	23	大会組織配布物の管理	38	実行委員会の全活動記録の整理と保存
9	大会奉仕者への募集及び管理	24	各部分掌以外の一切の業務	39	各種報告書の取り纏め
10	参加者の取り纏め(集計一覧表作成)	25	各部門予算書書式の作成	40	実施報告書の取り纏め
11	大会奉仕者の管理	26	各部門予算の概算要求取り纏め	41	総務部各班の支援
12	来賓招待者の決定・各部門の取り纏め	27	大会予算の取り纏め	42	大会記録保存に関する一切の業務
13	実施報告書の予算作成	28	参加費の試算作成	43	
14	実施報告書の作成と配布	29	各部門会計書式の作成	44	
15	大会キャップ等の計画及び管理	30	予算執行規定の作成	45	
プログラム部					
1	千葉県ローバーストの協働	8	原隊プログラムへの協力・情報提供	15	地元の小中学校との連携
2	開会式の計画及び運営	9	プログラムガイドの作成(部内共通)	16	地元中学校・高等学校の部活動との連携
3	閉会式の計画及び運営	10	清掃奉仕プログラムの作成と支援	17	周辺施設の使用計画立案
4	大集会の計画及び運営	11	その他参加隊プログラムに関わる一切の業務	18	プログラムガイドの作成(部内共通)
5	宗教儀礼の計画及び運営	12	提供プログラム計画作成	19	その他プログラムに関する一切の業務
6	プログラムガイドの作成(部内共通)	13	プログラムガイドの作成(部内共通)	20	
7	会場周辺でのプログラム展開案作成	14	その他提供プログラムに関する一切の業務	21	
安全・救護部					
1	安全管理マニュアルの作成	11	救急体制の整備	21	設営及び撤営時のトラック入場管理
2	会場区割り	12	医療従事者の会との連携	22	隊サイト設営及び撤営時の一般車両管理
3	会場外構管理	13	スカウト育成委員会との連携	23	関係者への交通便案内
4	大会会場及び周辺パトロール	14	安全委員会との連携	24	場内の交通整理
5	安全管理指導	15	現地医療体制の確認と情報管理	25	会場付近の交通整理
6	セーフ・フロム・ハームの指導・保護	16	消耗品の管理	26	その他大会交通に関する一切の業務
7	会場撤営及び撤収計画の立案・管理	17	搬送体制の整備	27	
8	会場運営計画の立案・管理	18	その他救急に関する一切の業務	28	
9	その他安全管理に関する一切の業務	19	駐車場管理	29	
10	救護所の設置及び運営管理	20	管理ステッカーの発行と管理	30	
施設資材部					
1	会場の測量及び測量図作成	8	配電設備計画と設置管理	15	排水計画
2	施設の設置計画及び計画図作成	9	環境保護マニュアルの作成及び運用	16	廃棄物計画
3	簡易トイレの設置計画及び設置管理	10	会場周辺の環境整備	17	給水工事及び管理
4	衛生管理施設の設置計画及び設置管理	11	地元建設業者との調整	18	汚水排水処理に関する工事及び管理
5	仮設電気工事計画と管理	12	その他施設資材に関する一切の業務	19	その他生活施設に関する一切の業務
6	電気使用量の取り纏めと計画作成	13	給水計画	20	
食糧部					
1	参加隊食糧計画立案	8	保健所との折衝及び調整	15	フードサービスに関する一切の業務
2	参加隊食糧ガイド作成	9	緊急時の食糧計画立案	16	奉仕者の食事計画及び食堂(仮称)の運用
3	食糧販売所(仮称)の設置	10	その他食糧に関する一切の業務	17	保健所との折衝及び調整
4	食糧保存計画の立案と管理	11	場内販売の出店計画及び管理	18	その他食堂管理に関する一切の業務
5	商工会との調整及び出店計画立案	12	商工会との調整及び出店計画立案	19	
6	緊急時の食糧計画立案	13	保健所との折衝及び調整	20	

第7章 参加資格

7-1 ボーイスカウト

平成28年度加盟登録済のスカウトで、参加隊又は原隊において、1泊以上のスカウトキャンプを経験した者で、参加隊隊長が認める者。

7-2 ベンチャースカウト

平成28年度加盟登録済のスカウトで、参加隊においては、上級班長又は隊付きとしてボーイスカウト隊月間プログラムに参画し、指導を経験した者で、参加隊長が認める者

7-3 ローバースカウト

平成28年度加盟登録済みのスカウトで、大会組織の中で役務の分担に耐えられる体力と精神力を備えた者

7-4 成人指導者

平成28年度加盟登録済みでセーフフロムハームの考え方を受容する指導者

参加隊指導者は、原隊がボーイスカウト隊の指導者とする。

大会組織に参加される指導者は、ボーイスカウト隊指導者をはじめ、各隊指導者及び団委員とする。

加盟登録をしていない成人においては、千葉県連盟コミッショナー及び大会実行委員の承認のあった者は、セーフフロムハームを受容の上、参加できる。

7-5 その他の参加者

富津市内で、参加を希望される子ども

7-6 セーフフロムハームの遵守

安全管理マニュアルに記載されている、セーフフロムハームを受容できない参加者は退場する。

第8章 参加費

8-1 参加費

(1) 本大会に参加するスカウト及び指導者は全員20,000円とする。

(2) 前半・後半で交代する指導者の参加費は12,000円とする。

8-2 参加費の使用範囲

(1) 参加隊 平成28年8月9日(火曜日)の夕食から8月14日(日)の昼食まで、全15食分の配給食材費(ただし、米及び調味料は含まない。)

(2) 参加章・大会キャップ・班長次長の肩章及び配布資料

(3) 会場の設備費・運営費、プログラム活動費及び会場使用料

(4) 会期中の会場内における救護及び衛生費

(5) 会期中の保険料他

※ 納入された参加費は、大会本部の承認を得て、他の参加者に振り替えることができるが払い戻しはしない。(大会決算で承認したものは除く)

第9章 参加章・見学証と入場

9-1 入場者の限定

野営地への入場は、参加章又は見学証の着用者に限る。

- (1) 参加者及び奉仕者は、大会キャップ着用をもって参加章とする。
- (2) 入場は、大会運営部の受付に申し出ることにより許可する。
- (3) 見学証は、大会運営部から許可された訪問者に配布する。
- (4) 野営地の見学は見学証がなければ許可しない。プログラム広場については見学証がなくても入場できる。

第10章 参加申し込み

10-1 予定申込み

- (1) 参加隊の予定申込みは、地区を通して行う。所定の「参加予定申込書」を記入の上、本書とデータで提出する。
- (2) 参加予定申込時に、一人当たり5,000円の予納金を添え、平成28年5月16日(月曜日)までに20MCC実行委員会へ提出する。
- (3) 予納金は大会参加費に充当し、返金はしない。
- (4) 大会運営チーム参加者は、別途告知する。

10-2 確定申込み

- (1) 参加確定申込みは、地区を通して行う。「確定参加申込書」の必要事項を記入し、参加費残金を添え、平成28年7月15日(金曜日)までに20MCC実行委員会へ提出する。

第11章 到着手続

11-1 参加隊

- (1) 参加隊は、平成28年8月9日(火曜日)13:00までに大会受付において、所定の入場手続を完了する。
- (2) 大会運営本部は、到着手続時に下記のことを行う。
 - ① 申し込名簿と入場手続時名簿の照合
 - ② 必要な連絡事項の確認
- (3) 現地での手続きの方法に関しては、別途「隊長情報」で告知する。

11-2 大会運営要員

- (1) 事前に各部より指定された日時に到着手続を行う。
- (2) 部によっては、大会期間前後に宿泊を伴うことがあるので、各部で調整を行う。
- (3) 大会関連施設の整備の工事日には、運営要員が立ち会う。

第12章 提供する諸設備及び資材

12-1 野营地

- (1) 参加隊に野营地を割り当てる。
- (2) 野营地面積は750㎡(25m×30m)を目安とする。

12-2 共用地域と公共施設

- (1) 参加隊のグループに1ヶ所、グループ広場を設定する。
- (2) 大会主会場・提供プログラム会場等は、富津市の施設を中心に活用する。
- (3) 会場内通路・ゲート・救護所・男女別トイレ・シャワー設備
- (4) 上水道及び排水枡
- (5) 携帯電話充電設備
- (6) 緊急時連絡設備
- (7) 場内及び近隣案内所
- (8) 売店・スカウト用品販売店
- (9) 駐車場
- (10) その他

12-3 運営チーム施設

- (1) 大会運営各部部室・大会運営チーム員の野营地
- (2) 来賓控室・来賓応接室
- (3) 会議所・倉庫
- (4) 大会運営チーム員向け食堂

12-4 炊事用燃料及び関連事項

- (1) 炊事用燃料は薪とし、薪は参加隊に支給する。参加隊は「立ちかまど」を使用する。
- (2) 野营地は直火を禁止する。
- (3) 参加隊でガソリンを燃料とする機器の使用は禁止する。

12-5 野外工作等の材料

- (1) 竹材等の野外工作材料は、参加隊で準備し、設営時に持ち込む。
- (2) 大会期間中に使用した野外工作材料は、参加隊が全て持ち帰る。

第13章 プログラム

13-1 プログラムの基本

県キャンポリーではあるが、基本「ボーイスカウト隊の夏季キャンプ」という認識を持っていただくことを前提とする。

現地ロケーションを考慮して、班長を中心に綿密な計画を立案していただき、キャンポリーへ参加する。

ただし、大会目標であるパトロールシステムの活性化する上での、班単位で実施できる大会組織提供プログラムを準備する。

13-2 プログラム時の外出

プログラムで外出する場合、各班に1人以上の成人の参加隊指導者が帯同する。ただし、開会式、大集会、閉会式でプログラム広場に移動する場合は除く。

13-3 基本日程

	午前	午後	夜間	備考
8月8日(月)		会場設営		
8月9日(火)	入場	設営	開会式	
8月10日(水)	参加隊独自プログラム 工場見学(荏原)	参加隊独自プログラム 工場見学(荏原)	交流会	体育館大利用可
8月11日(祝)	宗教儀礼	Scouts Festival 地域連携	大集会 ライブあり	体育館大利用可
8月12日(金)	参加隊独自プログラム	参加隊独自プログラム	交流会	体育館大利用可
8月13日(土)	参加隊独自プログラム	参加隊独自プログラム	閉会式	体育館小利用可
8月14日(日)	撤営・退場	後片付け		

13-4 構成プログラム

大会プログラムはボーイスカウト隊の長期キャンプを前提に、以下の構成で展開される。詳細は「プログラムガイド」で告知する。

- (1) 日日の改善プログラム
- (2) 参加隊独自のプログラム
- (3) 大会提供プログラム
 - ① スカウトスキルチャレンジ(対班競点プログラム)
 - ② スカウトフェスティバル
 - ③ 工場見学

(株)荏原製作所富津工場、新日鐵住金(株)君津製鐵所 ほか

- (4) 地域交流プログラム
- (5) 伝統・文化・スポーツプログラム
- (6) 宗教儀礼
- (7) 地域奉仕プログラム

第14章 服装及び携行品

14-1 服装

- (1) 参加者の服装は制服とし、制服の右ポケットに参加章を着用する。ただし、大会キャップを制服とする。
- (2) 健康保険証、健康調査カードを携行する。
- (3) 開・閉会式、朝礼、スカウト・OWN・サービス、場外プログラム参加時、その他の公式の場は正装とする。ただし、隊サイト内での活動の時及び作業に従事するときは、それにふさわしい服装とすることができる。
- (4) プログラムに参加するときの服装については定められた服装か、それにふさわしい服装とする。

14-2 肩章

- (1) 班長及び次長が参加隊として活動する時は、制服に専用の「肩章」を着装する。
- (2) 参加隊の上級班長が活動する時は、制服に専用の「肩章」を着装する。
- (3) 「肩章」は実行委員会が配布する。

14-3 携行品

個人携行品、隊携行品(装備含む)については、参加者が自主的に判断し携行するものとする。

第15章 配給

15-1 食糧の配給

- (1) 参加隊の配給は、平成28年8月9日(火曜日)の夕食から8月14日(日)の昼食まで、全15食分までとする。
- (2) 配給は、生鮮野菜・肉・魚・氷・麺類などとし、調味料および米は配給しない。
- (3) 配給食糧は、上記食材を最低数量で申し込みできるようにする。隊で数量を取りまとめ、別途指定する日時までに申し込む。
- (4) 献立は、参加隊の班単位で決定する。
- (5) 配給方法は、夕食は当日の午後4時より午後6時30分まで、朝食と昼食は当日の午前5時30分より午前7時まで配給する。

15-2 薪

- (1) 参加隊は立ちかまどを使用し、薪を使用するので、燃料の薪を配給する。
- (2) 配給方法は別途案内とする。

15-3 大会運営者の給食

- (1) 大会運営者は、平成28年8月9日(火曜日)の朝食から8月14日(日)の昼食まで、全17食を提供する。
- (2) 提供する食事は、朝食、昼食、夕食とし、全食弁当形式とする。

15-4 給水

- (1) 給水は大会専用の取水口を設置し、上水を配給する。
- (2) 水の使用については無駄のないように特に節水に努める。

15-5 排水

- (1) 榎荏原製作所様から野営地をお借りしているので、浸透排水は不可とする。
- (2) 排水は、野営地に設置した指定排水場所に濾過をしたうえで排水を行う。

第16章 輸送

16-1 輸送の原則

参加隊及び大会運営委員及び資材等の輸送は任意とする。ただし、参加隊においては、ボーイスカウト隊夏季キャンプの計画と同様、班長に委ねることを推奨する。

16-2 輸送の方法

参加隊の隊装備との搬入及び搬出は、別途案内を発信し、指定の時間に行う。

16-3 車両の規制

- (1) 設営及び撤営時のトラック等は、一定の統制のもとで運航できる。
- (2) 大会期間中の個人車両の使用は認めない。
- (3) 大会本部、運営車両、市、警察、報道、郵便、消防などの用務車両は、別に定める基準によって使用できる。
- (4) 入退場に使用する車両は、事前に申請を行い、許可を受けたものについては大会駐車場を使用できる。
- (5) 見学者の車両は指定の大会駐車場を利用できる。

第17章 健康管理と救護衛生

17-1 個人の健康管理

- (1) 参加者は、参加隊隊長の指導のもとに保健衛生に充分留意し、自己責任で健康管理を行う。
- (2) 平成28年4月に入隊したボーイスカウトは、初めての長期キャンプなので、班長及び参加隊隊長並びに原隊隊長に支援・指導を受け、準備を万端にしておく。
- (3) 安全救護部が発行する健康調査カードと健康保険証を携行し、受診の際に提示する。

17-2 救護所

参加者の万全を期すため、平成28年8月9日(火曜日)～8月14日(日)12:00まで、次の救護所及び医療施設を設置する。

- ① 大会救護所(医師と看護要員)
- ② 安全救護部が委託する病院、医院

17-3 救護処置の範囲

大会救護所での処置内容

- ① 患者の診断、治療は、医師が担当する。
- ② 担当医師の判断・指示により外部の病院、または医院にその処置を委託する。この場合、治療費は本人の負担とする。

17-4 環境衛生

(1) 共同施設の使用

快適な野営生活をするため、便所その他の共同施設の使用は、使用者が汚さないように留意し、清潔にする。清掃、消毒は各参加隊が担当する。

(2) ごみ処理

野生動物対策のため、生ごみを埋めることは禁止する。ごみの分別及び収集方法は、富津市の基準に基づいて行う。詳細は「隊長情報」で告知する。

(3) 洗剤等の使用

洗剤や歯磨きは、界面活性剤の少ないせっけん類を奨励する。排水は下水道に排出するが、ボーイスカウト隊の活動に相応しいものとする。

第18章 緊急時の対応

18-1 基本方針

台風、豪雨、雷雨、地震等の天災で、野営生活の維持が困難となり、かつ参加者の安全を図る必要が生じたときは野営本部長の決定に基づいて一時、場外施設に退避する。

18-2 情報の収集と告知

安全救護部は、総務部とともに気象情報に注意し、台風、豪雨、地震等の襲来を早期に予知することに努め、全参加者に警告する

18-3 退避勧告と発動

実行委員会の決定にも基づき、退避について野営長が野営本部長を通じて各参加隊長に指示する。

(1) 収容計画

別途「安全管理マニュアル」参照

(2) 参加隊退避時の行動基準

退避を指示された参加隊は、キャンプサイトを時間の許す限り整理し、寝具、非常食及び配給された食糧及び個人携行品を取りまとめ、あらかじめ指示された場所に集結し、指示に従って、所定の退避場所へ整然と移動する。

参加隊は、指導者の一部を残留させ、隊野営地の監視に当たらせる。ただし、退避指示発令時に、詳細は指示する。

18-4 緊急時の実行委員会の任務

大会本部各部の緊急時の任務は、別に定める。

第19章 見学者の受入れ

19-1 見学者の歓迎

ビーバースカウト、カブスカウト隊、保護者の見学は、おおいに歓迎する。

- (1) 各隊の輸送及びプログラムは、それぞれ各隊、各地区において計画実施する。
- (2) 見学者には、見学証として缶バッジを200円で販売し、指定部位に装着をお願いする。

19-2 参観者の歓迎

地元の方々の見学は、大いに歓迎する。専門の対応チームを設けて案内ができるようにする。

19-3 来場者の対応と入場時間

- (1) 午前9時より午後9時までとする。
- (2) 入場者は、大会受付にて見学入場手続を行う。
- (3) 野営地以外の見学は自由とする。



《修正履歴》

2016/03/20 (Ver3. 23) 6-8 参加隊グループ編成の項目を追加。第 13 章 13-3 基本日程修正
第 15 章 配給の一部字句を修正。第 20 章 配布資料を削除
第 17 章 17-4 (3) 排水は、他の記載と重複のため削除
概略工程を一部修正
2016/4/10 (Ver3. 24) 誤記修正
2016/7/1 最終版

日本ボーイスカウト千葉県連盟

第20回記念千葉県キャンポリー実行委員会

〒263-0016

千葉市稲毛区天台6丁目5-2

千葉県青少年女性会館内

電話 043-287-1755

FAX 043-287-1786

URL: <http://www.scout-chiba.jp/>